

がん対策室御中

4/17 欠席しますので、緩和ケアの分野で私の意見を述べさせていただきます。

● 今後の日本の緩和ケアの三本柱

1) 緩和ケアの専門病棟の増加

現在 163 施設。カバー率（全がん死の内、ホスピス・緩和ケア病棟が関与した死）は 5%。これを少なくとも 10% に。そのためには少なくとも  $163 \times 2 = 326$  の施設必要

2) 緩和ケアチームの増加

増加を阻んでいる要因の一つに精神科医がチームの一員として要求されることが挙げられる。これを見直すべき。精神科医は必要時に介入することはいいが、チームの一員になる必要はない。

3) 在宅ケア

在宅ケアが進むためには、かなり思いきった経済的バックアップが必要

● 三本柱を推進するには

緩和ケアに従事する医師の絶対数が足りない。あらゆる努力をして緩和ケア医を増やす必要あり。

- ・ 研修の充実
- ・ 研修への経済的援助
- ・ 医学部に緩和ケア学（緩和医療学）の講座を開設

金城学院大学  
柏木哲夫